

**宮私幼PTAだより**

第74号

発行者 宮私幼PTA連合会  
 編集者 宮私幼PTA連合会  
 発行所 宮私幼PTA連合会  
 印刷所 宮私幼PTA連合会

事務局長 山崎 知子  
 常任委員長 寺澤 正志  
 委員 岩山 伸次、高野 榮、菅原 彰、菅野美香子、山崎 知子、菅野美香子、小山佳子、佐々木拓真、佐藤 哲子、平田ひかり、藤田 純、山田 純、大山とし江、小島 孝尋、佐藤 景子、千葉とみ子、戸田 貴志、木村 浩章、吉田 梯子、佐藤 宏郎、阿部 由美、阿部 美和子、中野 正志、中沢 幸男、菊地 文博

〒960-0812 宮城県仙台市青葉区三丁目6-12  
 電話 (022) 263-7040

### 新会長のもとに結束し 要望実現に頑張ろう！

会長 渥美 巖



宮城県私立幼稚園PTA連合会は、今年度の目標として①すべての子どもの為に、よい環境をつくる。②よい親・よい教師になる。③保護者の負担軽減の為に、更に努力しよう。の三つを掲げ事業を展開していくことを先の総会で決定しています。

そのような中、七月中旬、東京において全日本私立幼稚園PTA連合会委員総会が開催され、これまで会長として大きな指導力を発揮された森喜朗会長が勇退され、後任に河村建夫衆議院議員が選出されました。

森会長は、幼児教育の重要性を国会議員や文部科学省、財務省役人に力説され、現在のような幼稚園関係予算確保に大きな実績を上げていただきました。河村新会長にも組織をしっかりまとめて頂き、要望実現の先頭に立って頑張ってくださいと願うと共に、私達も一致協力して目標実現に努力していかねければならないと思います。

宮城県にも少子化の波が押し寄

せております。平成元年県内小中学校の児童生徒は、約二十九万人おりましたが、今年約十九万七千人。二十年前と比較すると九万三千人のマイナス、率にして三十二%の減となっております。又、二年一クラスの複式学級も平成十年には四十五校、八十一学級が今年六十五校、百二十三学級に増えており、今後も郡部に多くなると予想されますし、このことが学力低下や活力ある学級づくりに影響しないかと心配しております。県としても学校設置者である市町村と真剣に対策を話し合う時期にきているものと思います。

本県の小中学校児童生徒の八割は、公立学校に通学していますが幼稚園児の八割は私立幼稚園に通園しております。少子化の波が私立幼稚園運営にも大きく関わってきておりますので、公費支援が必要で、「子どもにとって最善の保育環境を実現する」為にも！

### 平成二十一年度役員名簿

- 会長 渥美 巖
  - 副会長 中島 源陽
  - 稲富 将夫
  - 横澤 行夫
  - 布田 早苗
  - 星 優子
  - 内山 房江
  - 横澤 行夫
  - 小野 暢彦
  - 寺澤 正志
  - 岩山 伸次
  - 高野 榮
  - 菅原 彰
  - 山崎 知子
  - 金沢 美香子
  - 菅野美香子
  - 小山佳子
  - 佐々木拓真
  - 佐藤 哲子
  - 平田ひかり
  - 藤田 純
  - 山田 純
  - 大山とし江
  - 小島 孝尋
  - 佐藤 景子
  - 千葉とみ子
  - 戸田 貴志
  - 木村 浩章
  - 吉田 梯子
  - 佐藤 宏郎
  - 阿部 由美
  - 阿部 美和子
  - 中野 正志
  - 中沢 幸男
  - 菊地 文博
- 監事 田中 優子
- 事務局長 山崎 知子
- 常任委員長 寺澤 正志
- 委員 岩山 伸次、高野 榮、菅原 彰、菅野美香子、山崎 知子、菅野美香子、小山佳子、佐々木拓真、佐藤 哲子、平田ひかり、藤田 純、山田 純、大山とし江、小島 孝尋、佐藤 景子、千葉とみ子、戸田 貴志、木村 浩章、吉田 梯子、佐藤 宏郎、阿部 由美、阿部 美和子、中野 正志、中沢 幸男、菊地 文博
- 各支部長 各支部副部長
- 各支部 各支部副支部
- 各支部 各支部副支部

### PTA研修大会に参加して

すがわら幼稚園 PTA 田中 優子



去る六月二十四日、県内から大勢のPTAの皆様にご参加いただき

き、平成二十一年度宮城県私立幼稚園教育振興大会及び、第三十八回宮城県私立幼稚園PTA研修大会が盛大に開催されました。

教育振興大会では、「明日を担う子どもたちのために」子育ては、家庭と地域と幼稚園とという大会スローガンの下、大会宣言が読み上げられ、幼稚園教育の拡充や、保護者の経済負担の軽減を、県に要望いたしました。

研修大会では「子どもの未来に今、伝えたいことー生きる力」と題し、家庭教育力カウンセラーの内田玲子先生にご講演をいただきました。

迫力ある語り口で、ご自身のエピソードを交え、いかにして子どもに生きる力をつけるか、という内容で話が展開されました。

「答えは生活の中にある」先生が何度もくり返された言葉です。



子どもが話しかけてきた時、「今忙しい。」と弾いてはいませんか？「テストで七〇点とったよ。」と言ってきた時、「何で一〇〇点とれないの？」「他の子はどうだったの？」と問い詰めてはいませんか？ただ一言「がんばったね。」と言っただけであれば良いのです。このことでした。

日常生活でのちょっとしたやりとりで、子どもを肯定し受け入れることで、子どもは安心して、それが生きる力につながるのだそうです。そして子どもが失敗した時、余計なことを言ったり追いつめたりせず、いかに救い上げられるかを問われ、できていないことばかりで落ち込みましたが「大丈夫、今、気づけば良いのです」という言葉に救われ、前向きな言葉を心がけようと強く思いました。幼児期の接し方が、思春期にブーメランのように返ってくるのだそうです！



普段は、子どもに「教える」立場の私達ですが、「教わる」立場になるのも新鮮で、貴重な経験となりました。

この大会を通して、行政を身近に感じ、幼稚園の先生方への感謝の気持ちを新たに、そして自分自身をふり返ることができ、たいへん有意義な一日となりました。

この大会を通して、行政を身近に感じ、幼稚園の先生方への感謝の気持ちを新たに、そして自分自身をふり返ることができ、たいへん有意義な一日となりました。

平成21年度事業計画

平成21年度予算

宮私幼PTA

宮私幼PTA

期 日	内 容	会 場
21年 5月20日	前年度役員会	宮城県議会会議室
6月 2日	平成21年度総会	仙台市民会館小ホール
6月10日	第1回役員会	宮城県議会会議室
6月24日	宮城県私立幼稚園教育振興大会 第38回研修大会 講演「子どもの未来に、今、 伝えたいことー生きる力」 講師 内田 玲子先生(家庭教育カウンセラー)	東京エレクトロンホール 宮 城 大 ホール
9月 1日	宮私幼PTAだより発行(第74号)	
9月 日	バレーボール代表者会及び抽選会	
10月 日	第2回役員会	
10月22日	第35回バレーボール大会	グランディ21(利府)
11月 日	全日本私立幼稚園PTA全国大会	東 京
2月 日	東北地区私幼PTA連絡会議	
3月 1日	宮私幼PTAだより発行(第75号)	
時 期 未 定	地区研修(2ヶ所)	
"	知事陳情	
随 時	各部会(研修部・体育部・広報部)	
"	常任委員会	

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 会 費	2,000,000	2,104,000	△104,000	80円×25,000名
2. 補 助 金	330,000	315,000	15,000	宮私幼20万、全日私幼P
3. 負 担 金	640,000	640,000	0	バレー参加費8,000円
4. 雑 収 入	40,000	40,000	0	バレー大会広告費、他
5. 繰 越 金	130,294	184,217	△53,923	
合 計	3,140,294	3,283,217	△142,923	
1. 事 務 費	150,000	160,000	△10,000	
(1)消耗品費	10,000	20,000	△10,000	
(2)通信費	20,000	20,000	0	
(3)印刷費	60,000	60,000	0	資料印刷
(4)事務所費	60,000	60,000	0	宮私幼連合会へ
2. 事 業 費	1,930,000	1,960,000	△30,000	
(1)研修費	500,000	540,000	△40,000	振興大会、地区研修
(2)保体費	800,000	800,000	0	バレーボール大会
(3)会報費	500,000	500,000	0	年2回発行
(4)渉外費	130,000	120,000	10,000	全国大会参加
3. 会 議 費	120,000	130,000	△10,000	
(1)総会費	20,000	20,000	0	
(2)役員会費	90,000	100,000	△10,000	
(3)常任委員会費	10,000	10,000	0	
4. 旅 費	150,000	150,000	0	役員交通費
5. 分 担 金	750,000	789,000	△39,000	全日私幼PTAへ
6. 雑 備 費	1,000	1,000	0	
7. 予 備 費	39,294	93,217	△53,923	
合 計	3,140,294	3,283,217	△142,923	

お知らせ

第35回親善バレーボール大会

期 日 平成21年10月22日(木)  
会 場 宮城県総合体育館(グランディ21・利府町)

今年度の目標  
◇すべての子どもの為に、よい環境をつくろう。  
◇よい親、よい教師となる為の研修を深めよう。  
◇保護者の負担軽減の為、さらに努力しよう。

※宮私幼PTAホームページを作成しました。(事業計画、あゆみ、会報等)  
・宮城県私立幼稚園連合会(<http://www.miyashiyo.or.jp>)よりリンクする。  
・宮城県私立幼稚園PTA連合会で検索する。

県道路交通規則の改正

(自転車への幼児二人同乗容認)について

(お願い)

警察本部交通部企画課

宮城県道路交通規則が改正(本年七月一日施行)され、これまで認められていなかった自転車の幼児(六歳未満)の二人同乗が可能となりました。

幼児二人同乗ができるのは、本年七月から販売が開始された「幼児二人同乗用自転車」に限られ、通常の自転車に幼児二人を同乗させることはできませんので、ご注意願います。

また、近年の自転車利用者の増加に伴い、自転車に関係する交通事故が高原状態で推移しております。ご父兄の皆様には、子どもさんが自転車を運転する場合、あるいは自転車に子どもさんを同乗させる場合には、自転車乗用ヘルメットの着用をお願いいたします。さらに、最近、自転車の通称「無視やマナー」の低下が社会問題化しており、通勤通学時間帯には信号待ちしている小・中学生の前を、自転車で信号無視等をするとする大人の方が多く認められます。ご父兄の皆様が自転車を利用される際には、子ども達の模範となるよう、交通ルールの遵守とマナーの向上に努めていただきますようお願いいたします。

会員のことは

親の手

あさひ幼稚園P

大山 とし江



「ねえママ、幼稚園の頃は何して遊んでた？」年長の娘に尋ねられ、幼稚園生活を振り返って

「今まさに我が子が大好きな遊びです。私は外にも色々な事を憶えて、自分の机には名前と一緒にぶどうマークがついてた事や、雨の日の園庭には池の様な水たまりができた事、運動会では父兄が総立ちで応援している姿を見て「波みたい」と、波打ち際を走りぬげる様な気持ちだった事等思い出すとドキドキワクワクがいっぱいありました。そんな事を子供に話ながら、私も親になる時が来るなんて...と、何だか不思議な気持ちになってしまいます。」

多かれ少なかれ、幼稚園時代の思い出は誰にでもあるのではないのでしょうか。役員になって、改めて気付かされるのは行事等を行う為に、先生方ははじめた皆さんの親の手があった事。前日迄の準備、当日の役割等、園生活の楽しい思い出が出来るまでの準備を、たくさんの温かい手が支えています。私自身が幼稚園での思い出を心の中に映し出せる事も、それを子供に伝えられる事も、私達が子供だった頃の大人の手が支えてくれたからなのではないでしょうか。

これから幼稚園行事は盛り沢山。幼稚園で楽しい時間を過ごせる様、思い出さずの思い出ができればいいなと思っております。

夏休み明けから、準備等も多くなっていますが、役員に選んで頂いた事に感謝しながら、先生や役員の方々と協力して行事を盛り上げ、子供も親も一緒に楽しめながら終わられる様、親の手」の代表として努力したいと思います。

PTAを通じて

利府あおぞら幼稚園P

吉田 梯子



「昨年、娘と一緒にスタッフとしての役員として。役員は娘の様子を見る口実でした。そして今年、「会長」に。正直、無理だと思っていました。」

「常日頃、娘には分からない事は聞きなさい。できない時は手伝ってとお願いしなさい。と言う私。現実には娘より実践できていません。そんな私を先生方を始め、役員の方々はフォローしてくれました。今、私はPTAを通じて皆さんの事を学んでいます。元々、地元でもない土地、お店一つ、道路一つ満足に分かりません。それを活動を通して視野が広がったのいい経験だと思っています。」

役員になり、2年目。まだまだ分からない事が多く、今現在助けをもらいながら何とか乗り切っている状態です。そんな中で感じる先生達の優しさ、役員の方々のサポートは私にとっては何れも感謝しています。この機会には是非伝えたいと思います。

「いつもありがとうございます。これからも宜しくお願いします」

あ と が き

「宮私幼PTAだより」第74号をお届けいたします。ご執筆いただきました皆さまに厚く御礼を申し上げます。あ と が き、といたします。